

実践・1

～学びと育ちの連続性～

浦幌小中一貫便り

平成 25 年 10 月 16 日 (NO.7)

浦幌町教育委員会



浦幌初の夏休み 小中合同学習会

■7月30日～8月1日、浦幌地区コーディネーター会議(平岡議長)主催の「浦幌小・中学校の夏休み合同学習会」が開かれました。

昨年までは小・中学校それぞれに学習会を

行っていましたが、今回小中一貫教育推進事業の一環として町総合スポーツセンターを会場に開催されました。

■学習をサポートしたのは、小・中学校の先生方をはじめ、ボランティアの大学生や地域の人たちで、3日間で延べ小学生46人、中学生73人の小・中学生が、小・中学校の垣根を越えて夏休みの宿題や高校受験に向けた勉強に取り組んでいました。

■今回の取組は、浦幌町で小中一貫コミュニティ・スクールを進める上で、価値ある第一歩として高く評価されています。



多くの先生方が学習をサポート

実践・2

英語暗唱・意見 発表会を参観



■9月11日、浦幌中学校で「英語暗唱・意見発表会」が行われ、浦小6年生が発表会の様子を参観しました。

■中学校に進学した段階で中1ギャップに直面し、不登校に陥るケースが見られることから、小学生のときから徐々に中学校の学習に慣れておくことが大切です。

こうした教育の実践を積み重ねることにより、一貫教育の意義が理解されてきます。

「コミュニティ・スクール推進協議会」に出席

平成25年9月2日、札幌市において「コミュニティ・スクール推進協議会」が開催され、浦幌町から宮村栄治校長、笹川尚哉教諭、松田健一総務係長の3名が出席しました。

CSマイスターの京都市教委西孝一郎主席指導主事が、「コミュニティ・スクールの充実に向けて」と題して講演。コミュニティ・スクールの指定を受けている三笠市、北広島市、安平町の実践発表、今後指定を予定している寿都町、占冠村、釧路市の報告がありました。

浦幌町の出席者からは、「浦幌町コミュニティ・スクール立ち上げのため、その任を果たさなければならぬ。」と強い決意をにじませた報告をいただきました。